



# 回復期リハビリテーション 病棟のご案内



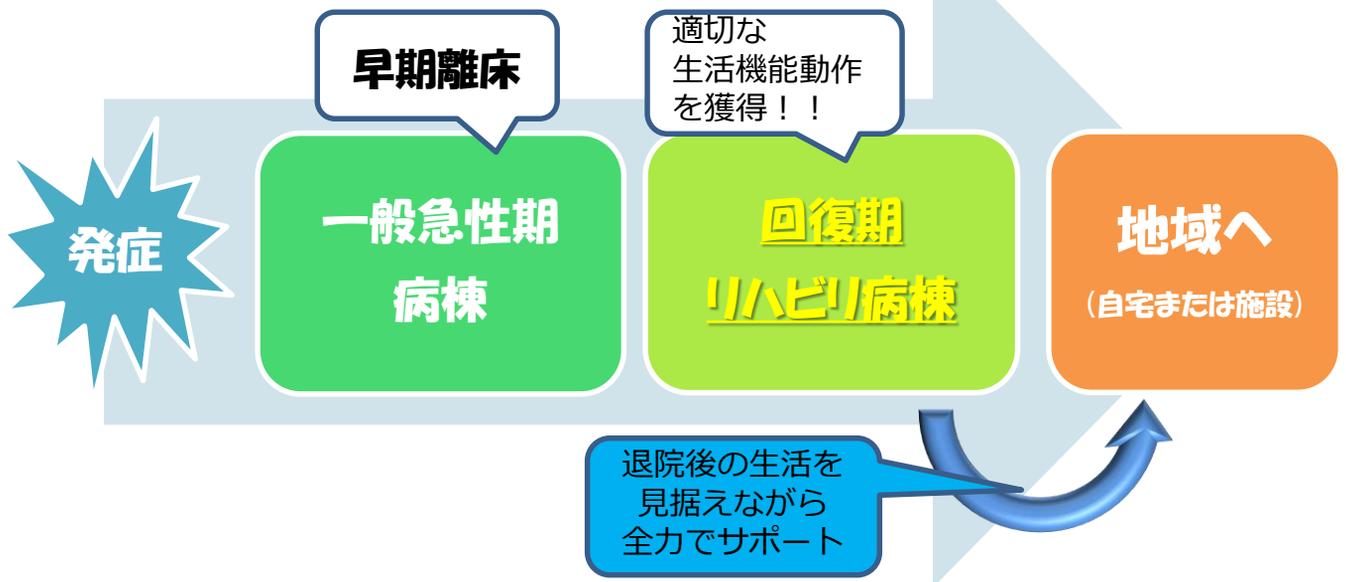
社会医療法人 熊谷総合病院

## 回復期リハビリテーション病棟のご案内

### 回復期リハビリテーション病棟とは

回復期リハビリテーションとは、急性期を経て在宅復帰を目指すために行われるリハビリテーションのことをいいます。

生活機能動作の改善を中心に、各種の動作練習を集中的に行い、自宅復帰を目標とします。発症からできるだけ早く、集中的にリハビリテーションを行うことが早期回復に効果的とされているため、専門スタッフによるリハビリテーションを365日提供します。



対象疾患	発症から入院までの期間	入院期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態	2ヶ月以内	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷		180日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	2ヶ月以内	90日
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	2ヶ月以内	90日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	1ヶ月以内	60日
股関節又は膝関節の置換術後の状態	1ヶ月以内	90日



## 1. チームアプローチによる力の結集！

多職種（医師・看護師・リハビリスタッフ・ソーシャルワーカー・薬剤師・管理栄養士など）での話し合いを定期的に行います。それぞれの専門性を活かして、患者さん・ご家族のニーズに合わせたリハビリテーションを計画し、チーム一丸となりサポートしていきます。



毎日、行っている話し合いの様子です。  
情報を共有し、より良い医療提供を！！

患者さんで気になることがあればすぐにチームで集まり、問題の解決策を検討！

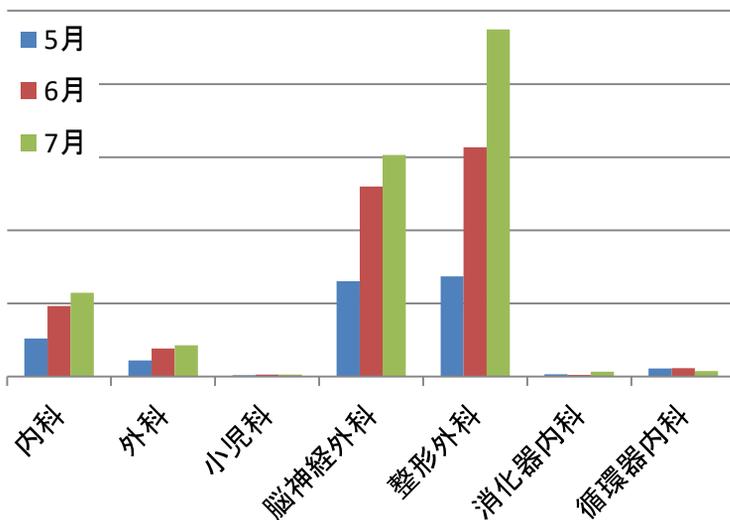


## 2. 総合病院ならではの豊富な経験を活かしたリハビリテーションが可能！

当院は病状や心身共に安定しない急性期からのリハビリテーションの経験が豊富なため、細やかな安全対策の経験を活かしたリハビリテーションを提供します。

また、整形外科・脳神経外科・内科・外科等のリハビリテーションの経験を活かし、総合的な視点でリハビリテーションを提供します。

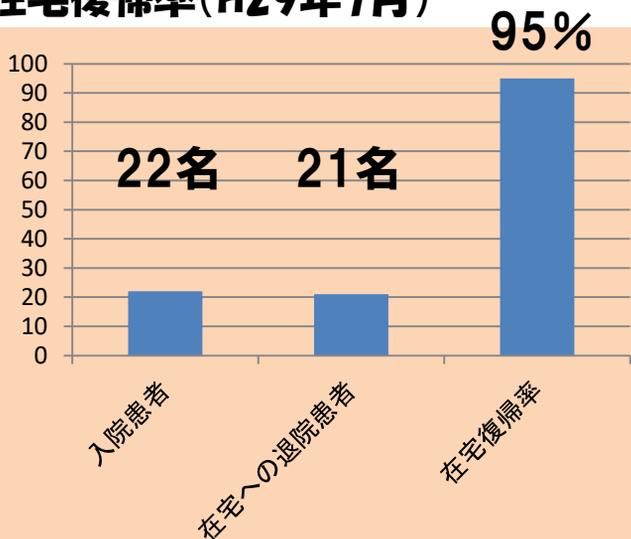
### リハビリ対象患者割合



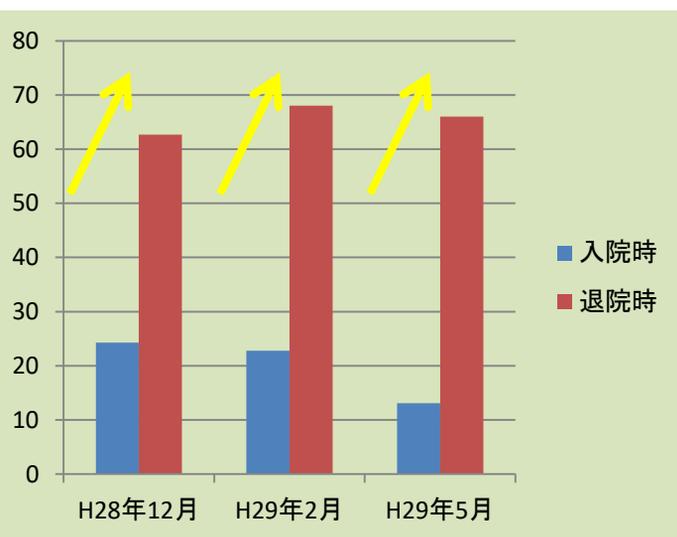
### 3. 365日 生活の再建を目指した リハビリテーションを提供！

生活の再建には、日々の生活に必要な動作を一緒に見つめ、生活を再現し改善を目指す必要があります。そのために土・日・祝日を含めた365日、1日最大で3時間までリハビリスタッフによるリハビリテーションの提供を行い、生活の再建を図る体制です。入浴やトイレ、キッチン、和室など、患者さんの状態に合わせた環境でリハビリを行います。

#### 在宅復帰率(H29年7月)



#### 生活動作の改善



## 4.地域との繋がりを重視！

居宅介護支援事業所や訪問看護ステーションとの関わりを重視しており、退院後に安心して生活ができるよう退院後の生活を見据え、日々連携を図っています。

当院は埼玉県から指定を受けた『地域リハビリテーション協力医療機関』です。熊谷市や近隣の市町村で介護予防事業を行っており、入院前や退院後の生活の維持や改善にも活動の幅を広げています。



当院の訪問看護ステーション「フェリーチェ」と居宅介護支援事業所「リアン」とのカンファレンスを実施しています。

安心して退院後の生活を送れるよう、退院後に関わる近隣のスタッフと一緒に、話し合いを行っています。



28年度から公開講座を開始しました。地域住民のニーズに応え、健康寿命の伸ばし方や心臓病についてなど身近なテーマで行っています。

## 5.北部医療圏最大規模！

病床数50床！（平成29年度8月1日時点で北部医療圏最多）

**リハビリスタッフ総勢66名！**（平成29年度8月1日時点で北部医療圏では最多）  
理学療法士52名、作業療法士10名、言語聴覚士4名 ※今後も増員予定！！



当院理学療法士、患者さんから一言

リハビリテーションは患者さんの笑顔を作る仕事だと思っています。  
これからもっと勉強して笑顔を増やしていきたいです！

スタッフさんの笑顔に元気づけられました。  
リハビリをして歩けるようになってうれしかったです。

患者さん  
のご意見



## 【お問い合わせ先】

医療法人熊谷総合病院 地域医療連携室

〒360-8567 熊谷市中西4-5-1

直通電話 048-525-6779

直通FAX 048-525-6769

### アクセスマップ

